令和６年度　第５回教育委員会

日時　　令和６年９月10日（火）　　15:30～　16:34

場所　　町公民館・大会議室

出席者	教育委員	柿田　美香	教育長	岩切　康郎
	教育委員	横山　槇子	教育総務課長	野村　敏幸
	教育委員	中神　克寿	社会教育課長	佐藤　光久
	教育委員	山口　昇	教育総務課主幹	馬場　勇次
			社会教育課主幹	麻生　昌秀
			教育総務課係長	森本　亜紀
			社会教育課係長	井上　隆広（欠）
			議事録	藤田　脩斗

傍聴者　１名

〇開会の挨拶

〇教育長挨拶

（教育長）

日向灘地震、台風の避難状況について触れ挨拶を行った。

〇教育長事務報告

（教育総務課　係長）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（社会教育課　主幹）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（社会教育課　課長）

町民スポーツ祭のスケジュールや競技について補足を行った。

（教育長）

町民スポーツ祭へ、より多くの町民参加のお願い、文化財保存調査委員会の綾の郷土史の見直し、通学合宿の参加人数について補足を行った。

（教育委員）

教育長挨拶で触れた避難について、避難者は何名ほどいたのか。

（教育総務課　係長）

避難所となっている小学校、中学校それぞれ２０名から２５名ほど。

（教育総務課　課長）

小学校体育館裏の土砂崩れについて説明を行った。

（教育総務課　主幹）

土砂崩れによって起こる今後の状況として、大雨の際とその翌日は体育館を使用せず、中学校の体育館を使用すること、運動会については小学校で実施できるかはまだ未定である。

〇協議事項

・非公開

（教育長）

以下の内容からは児童生徒等の個人情報に関わる内容のため、非公開の採決を行う。

（一同承認）

傍観者１名は退室

・令和６年度全国学力・学習状況調査結果について（報告）

（教育総務課　主幹）

令和６年度全国学力・学習状況調査結果について、宮崎県との平均の差や、結果をグラフに沿って説明並びに今後の対策として、夏季休業中の学習やコグトレ、学校に行けなくても無料で学ぶことが出来る授業動画教材イーボードについて説明を行った。

（教育長）

将来の目標を持ってる子が少ない。

地域社会への貢献と自己実現が繋がっていない。

世のため、人のために何かしたいそれが夢であると言えないところが課題である。

（教育委員）

特別支援教育の視点をもった授業が基本だと思う。

誰にでも分かる丁寧な優しい授業が子供たちにとって分かりやすい。

（教育長）

時代とともにバージョンアップしていく必要がある。

（教育総務課　主幹）

小学校で行っているスタートとゴールを決め、子供達に自分のペースで自由に学ばせる単元内自由進度学習について説明を行った。

（教育長）

タブレットを持ち帰り、チャットで話し合ったことを次の日の授業で話し合った結果から授業を始める反転学習について説明を行った。

〇その他

（教育総務課　課長）

今後の定例教育委員会の進め方について、1年間の教育委員会の評価をする際、各施設への支援・訪問の項目があり、今年度から幼稚園、保育園、保育所が教育委員会の所管になったため、その施設にも一度足を運んで頂きたい。

また、社会教育課の方でも体育施設を持っており、２０２７年には国スポも予定されており体育施設の方も見て頂き、１１月に行われる総合教育会議でご助言を頂きたい。

次回の定例教育委員会は会議形式ではなく、現地視察を行いたい。

（教育委員）

学力向上の件で、小学5年生から6年生、6年生から中学1年生の経年の分析が必要ではないか。

地域貢献について子供達に自分たちで考えさせることが大事である。

（教育長）

経年の分析については、校長先生にお願いをする。

総合政策課や農林振興課、建設課などが子供達の授業に入り取り組んでおり、その典型的な例がまちにわプロジェクトである。

他にも、どんぐりプロジェクトなどを行っている。

〇閉会